

北米先住民関係資料シリーズ 第2部
インディアン権利協会関係文書集 1882-1986 年

INDIGENOUS PEOPLES OF NORTH AMERICA

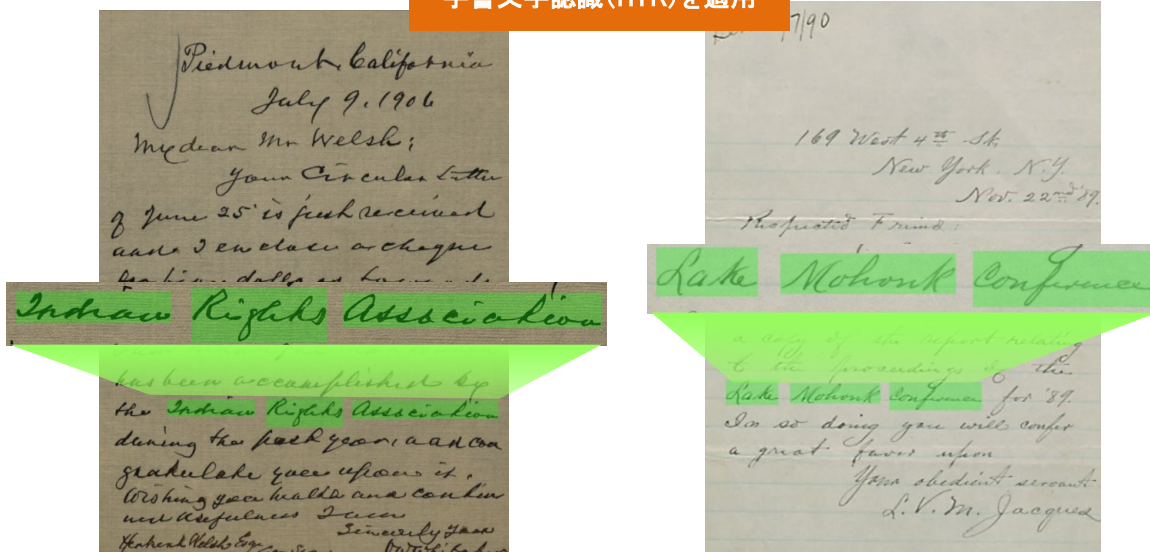
Part II: The Indian Rights Association, 1882-1986

17 世紀から 20 世紀までの北米先住民の政治、社会、文化史に関する資料を収録する北米先住民関係資料シリーズ (Indigenous Peoples of North America) の第2部「インディアン権利協会関係文書集 1882-1986 年」は、北米先住民の利害や権利保護に取り組んだインディアン権利協会の活動内容を記録する文書群 (ペンシルヴェニア歴史協会所蔵資料、約 35 万ページ) を収録します。

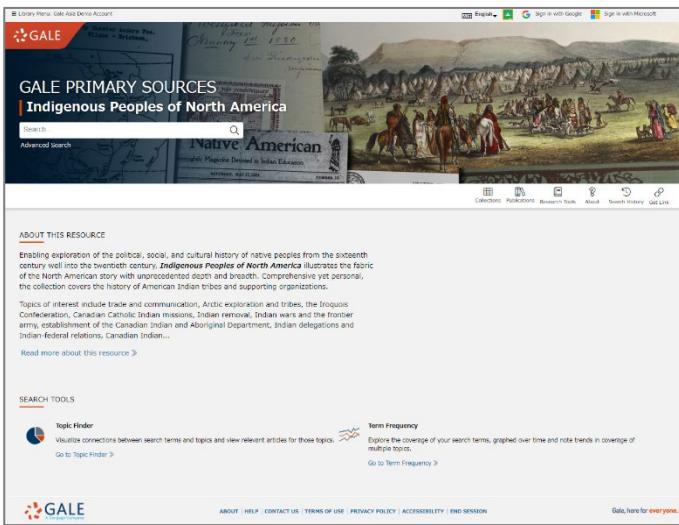
1882 年に創設されたインディアン権利協会は、19 世紀後半から 20 世紀前半にかけて北米先住民を支援した様々な非政府機関の中で最も有名な機関です。協会の先住民に対するスタンスは他の先住民関連団体と同様、世紀転換期に支配的であったパターンリズムと同化主義の思想を帯びたもので、先住民が経済的地位や社会的地位を改善するためには部族社会の原理を解体するのが最善の方法であると説きました。と同時に、連邦政府により先住民社会に派遣された職員による不正行為を暴き告発するという監視的な役割を果たしました。時に、協会は同化主義的なスタンスを放棄し、アメリカンインディアン協会、全米インディアン防衛協会、アメリカンインディアン問題協会等、先住民自身が運営する団体と連携することもありました。協会は先住民政策の根底にあった先住民に関する間違った事実や神話と闘い、刊行物や報告書を通して先住民に関する信頼できる情報の普及と正しい知識に基づいた政策立案に努めるとともに、先住民への調査研究旅行を実施し、先住民との間に緊密な関係を維持しました。こうして協会は、一般市民や議会関係者から先住民問題の重要な情報源と目されるようになりました。

本データベースに収録されているのは、組織が発行した年報を始めとする刊行物、法案、連邦政府省庁との書簡、組織運営文書、研究ノート、新聞記事の切抜き等、多様な資料群です。文書だけでなく、写真も多数収録されています。書簡を始めとする手書き文書は収録文書全体の約 10% を占めていますが、手書き文書に対して HTR (Handwritten Text Recognition、手稿文字認識) を適用し、フルテキスト検索を可能にしています。【2022 年 3 月現在、データベース未搭載の資料があります。すべての収録資料がデータベースに搭載されるのは 2022 年 8 月を予定しています】

手書文字認識 (HTR) を適用



■ トップページ



■ コレクション閲覧ページ (Browse Collection)

コレクション閲覧ページでは、第 1 集と第 2 集に収録されるコレクションのすべてのファイルが所蔵機関における配列順にリスト化され、ファイル内の文書がハイパーリンクされています。

